



協議会サイト

豊中駅前まちづくり

https://toyonaka-machikyo.com/



協議会SNS  
Instagram

## まちづくりの芽 .70 ゆっくり楽しく 歩き回れるまちを目指して

### “環境部会が「みどりの愛護」功労者を受賞”

駅前で花いっぱい運動に取り組む「環境部会」が“第37回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰の受賞団体に決定されました。5月24日に東京理科大学の葛飾キャンパスで開催される授賞式には、環境部会のメンバーが代表で出席する予定です。授賞式の模様は6月以降にホームページ等でお伝えします。

環境部会は平成7年（1996年）、「生ごみから地域の花づくり」を標語に、“通りのプランター”や“まちのお花畑（住宅地の空き地）”にお店や家庭の生ごみからつくった堆肥土で育てた花や緑を植え、花や緑で溢れるまちを目指す協議会の部会として誕生しました。”やさしさを包む包装資材展“の開催による環境にやさしい包装資材の提案、ガレージセールなど地域のリサイクルにも取り組みました。それから30年余り、担い手を徐々に変えながら、花や緑で溢れるまちを目指す活動は今に至るまで続いています。

### 2025年度の活動を振り返って

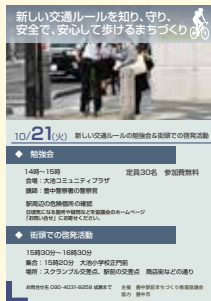
#### 夏休み子どもまちづくり体験教室

大池校区の小学生を対象に、豊中駅前について考えてもらう場として、夏休み期間中の7月31日と8月2日に“子どもまちづくり体験教室”を開催しました。3回目となる昨年度は、日数をそれまでの3日から2日に短縮し、1日目はまちの歴史の話を聞いた後、歩いて豊中駅周辺を見て回り、2日目は「まち未来ワークシート」の作成と発表を行い、修了者には「まち博士認定証」が贈られました。



#### 自転車啓発活動

“商店街の歩道では自転車を押して通行して下さい”と呼びかけ続けている協議会では、11月21日に豊中警察署の警察官を講師に招いて交通ルールの勉強会を行った後、スクランブル交差点から銀座通り・一番街商店街にかけて、地元の諸団体や梅花高校・中学の生徒さんとともに、自転車利用者に交通ルールの順守を呼びかけました。



#### 着物姿でまち歩き

「着物の日」の11月15日に、第4回目となる「着物姿でまち歩き」を開催しました。和服姿の男女二十数名が豊中駅前人工デッキから稲荷神社へ向かい、それまで気付かなかったまちの魅力や課題の発見に努めました。



#### (仮称)石畳通りの会

スクランブル交差点から北に延びる路地周辺で開業する店主などが集まり、道路のあるべき姿などを語る会を月に一度のペースで行っています。七夕まつりが開催された7月7日には、通行人に思い思いの願い事を短冊に書いてもらい、大きな七夕飾りを描いたボードに貼り付けるイベントも行いました。

#### トークフェスタ

3月21日に豊中駅前人工デッキ上で、「花とみどりにあふれ 楽しく歩き回れるまちを考えましょう！」をテーマに第3回トークフェスタを豊中市都市整備課との共催により開催しました。詳しくは4月号およびホームページをご覧ください。



今回の受賞は、“一番街の入り口”こもれびガーデン“、三井住友銀行、りそな銀行など駅前の花壇での植え替え・水やり・除草・清掃などメンバーのたゆまない活動や大池小学校の児童と苗から花を育て、その花が卒業式に贈呈されるなど、長年に渡り「駅前の花いっぱい運動」を続けていること。また月一回発行する「駅前まちづくりニュース」に「駅前の花便り」を掲載し取り組みを地域に伝えていることが評価されたのだと思います。



三井住友銀行前の花壇：この花壇は2008年8月に設置されました。今も銀行の玄関前で綺麗な花を咲かせています。

### 写真で見るまちの今昔「豊中駅西口」



写真A 昭和10年西口



写真B 西口昭和27年

1913年（大正2年）に豊中駅が開業した翌年に、現在の玉井町に豊中駅周辺では初めての分譲住宅が売出されました。それがきっかけとなり駅西口側は駅前を支える大切な住宅地として発展を続けて来ました。住宅分譲が始まった頃は、地域には日常の食料、日用品の購入は岡町に行くしかなかったようです。時代が昭和に代わるころから徐々に変わっていったようです。写真Aは「本通りから豊中駅西口を望む；昭和10年」とあり、西口の改札口から続く商店街の姿です。「道幅8メートルの通りの両側には桜が300メートルにわたり植えられていた」とキャプションにあります。

写真Bは昭和27年頃、駅を背に撮ったものです。当時、西口前に公園があり、その向こうに映画館や商店が並んでいたようです。

出典：ふるさと豊中（郷土出版）

### 駅前の花便り 50

『二月の雪が 三月の風が 四月の雨が 美しい五月をつくる』そんな言葉がうまれる美しい五月です。こもれびガーデンが縮小され、残された花壇をどうしたものか頭を抱えました。

しかしみんなでアイデアを持ち寄り話し合うこと約一カ月。駐輪場の設置工事で取り外されたレンガもフル活用。まずは土を耕し元あった花も再利用。そして綺麗な花の苗を買い足し、バランスを考え植えていきました。作業中、行き交う人も興味深げに声を掛けて下さり、生まれ変わる花壇が楽しみな様子。メンバーもやれば出来ると仕上がりに満足。これからのお世話も楽しみになっています。



お花の好きな仲間を求めています。お問い合わせは06-6852-7661 小林（協議医事務局）まで



豊中駅周辺に咲く素敵なお花

サツキ(玉井町)

ヒメヒオウギ(千里園)

スミレ(教会)

サフランモドキ(本町3)

